



9月1日は「防災の日」

地域や家庭で 災害に備える

「防災の日」は、大正12年9月1日に東京都・神奈川県・静岡県・南関東地方の広い範囲に甚大な被害をもたらした「関東大震災」を教訓にしたものです。

政府、地方公共団体等の防災関係諸機関をはじめ、広く国民の一人ひとりが台風、豪雨、地震、津波等の災害について認識を深め、これらに対する備えを充実・強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減を図ることをねらいとして定められました。

今年7月16日から17日にかけて台風11号が上陸し、平子・熊野・西明寺に避難準備情報が発令されました。幸い、避難所開設の必要はなく台風は過ぎ、日野町での被害はありませんでした。

台風災害や集中豪雨、また、南海トラフによる大地震など災害はいっ起こるかわからず、完全に回避することもできません。大規模な災害が起きたとき、まず大切になるのは「自助」と「共助」です。

各地域や団体で防災についてさまざまな取り組みをされています。今回は、南比都佐公民館で行われた防災通学合宿の取り組みと、日野町まちづくり出前講座の自主防災活動の様子を紹介します。

◆自助：自分や家族の安全を守る
こと

家族で防災会議を行い、いろいろな状況を想定して避難場所やお互いの役割分担を決めておきましょう。また、地震に備えて、家具の転倒防止や耐震の確認などをしましょう。

◆共助：お互いが助け合って地域
を守ること

自分たちの地域の弱点や特徴を知り、自分たちにあつた防災方法を考えましょう。また、普段からのあいさつなどお互いへの心がけが災害時には大きな力になります。



▲自分たちで考えながら作成しました

**大きな災害が起きた！
そのとき、地域でどうする？**

【南比都佐地区防災通学合宿】

7月2日(木)から4日(土)、南比都佐小学校5・6年生を対象に通学合宿が行われ、3日、4日は防災通学合宿と題して『下校途中に地震が発生し、避難所である公民館へ避難をした。』という想定のもと行われました。

防災通学合宿では例年の実行委員や健康推進員の皆さんのほかに、消防団と自警団も参加され、避難所生活を体験されました。



▲子ども達が食べた保存食。アルファ米とみそ汁と缶詰です。水は5年間保存が可能なものです。

●経験する

今回の避難所体験では準備された避難所で一泊の体験をするのではなく、避難所を自分たちで作るということから始めました。ダンボールを使い、自分の寝る場所を友だちと協力し、消防団員の皆さんに手伝ってもらいながら作りました。食事もアルファ米や缶詰などの保存食を食べました。

翌日は、消防団のポンプ操法訓練を見学し、消防署員から被災時の避難方法や救出救助について教えていただき、実際に放水の体験をしたり、チームに分かれて簡易な担架を作り、担架の上に人に見立てた箱を載せ運んだり、楽しみながらいろいろな経験をしました。

●一人ひとりが防災について考える

通学合宿実行委員長の木村貞壽さんは「今回の防災通学合宿では、いつか本当に災害にあったときにどのような対応をすればいいのか子ども達に知ることができた。こういった経験を子どもたちの体験できたのも良かった」とお話をいただきました。

また、「実行委員だけでなく消防団や自警団の皆さんに参加してもらえたのも良かったです。防災は一人ひとりが認識することが大切で、そのきっかけになったと思う。大人も子どもも一度体験しておく、避難時の役割分担などもスムーズにいくようになるのでは」ともお話しいただき、今回の取り組みが南比都佐地区で災害が起きたときに、自分たちで対処できる第一歩になったようです。

自分たちの地域を守る

【自主防災活動について学ぶ】

NPO法人ひびきあい日野の皆さんは7月14日(火)に日野町まちづくり出前講座を利用し、「自主防災活動」について学ばれました。



▲防災士の方と一緒に防災について学ばれました

今回の出前講座では、災害時、特に台風等の風水害や地震への備え等について職員から話を聞き、実際に被災したときにはどうするのかお互いの意見を出し合い、議論されました。

講座を受けて、防災とは自分を含めた大切な人を守ることに。防災活動の取り組みは難しいばかりでは続けられなくなるため、楽しく、無理なく取り組むことが大切で、これからの活動を考えないといけないと感じられたようです。

日ごろから情報収集を

町では、行政情報メール配信サービス「日野め〜る」で、防災、防犯、気象情報など緊急時に備えていただくための情報提供を強化し、町民の皆さんに安全・安心を伝えていきます。その他、暮らしに役立つ情報も随時配信していますので、ぜひ皆さん、ご登録ください。

また、今年7月からSNSの「Twitter」と「Facebook」が日野め〜ると連携しました。両サービスでも配信内容を見ていただけます。

f 日野町公式 Facebook

日野町公式 Twitter

日野め〜る



◆TwitterまたはFacebookの登録について

日野町公式アカウントは日野町ホームページのトップページまたは、上記のQRコードにてご登録ください。

◆日野め〜るの登録について

p@cp.town.shiga-hino.lg.jp に空メールを送っていただくか、QRコードを読み取ってご登録ください。